

# 新島周辺海底地形図\*

海上保安庁水路部

水路部では、平成2年度に測量船「天洋」により新島周辺の海底地形調査を行い、縮尺5万分の1の海底地形図を作成したので報告する。

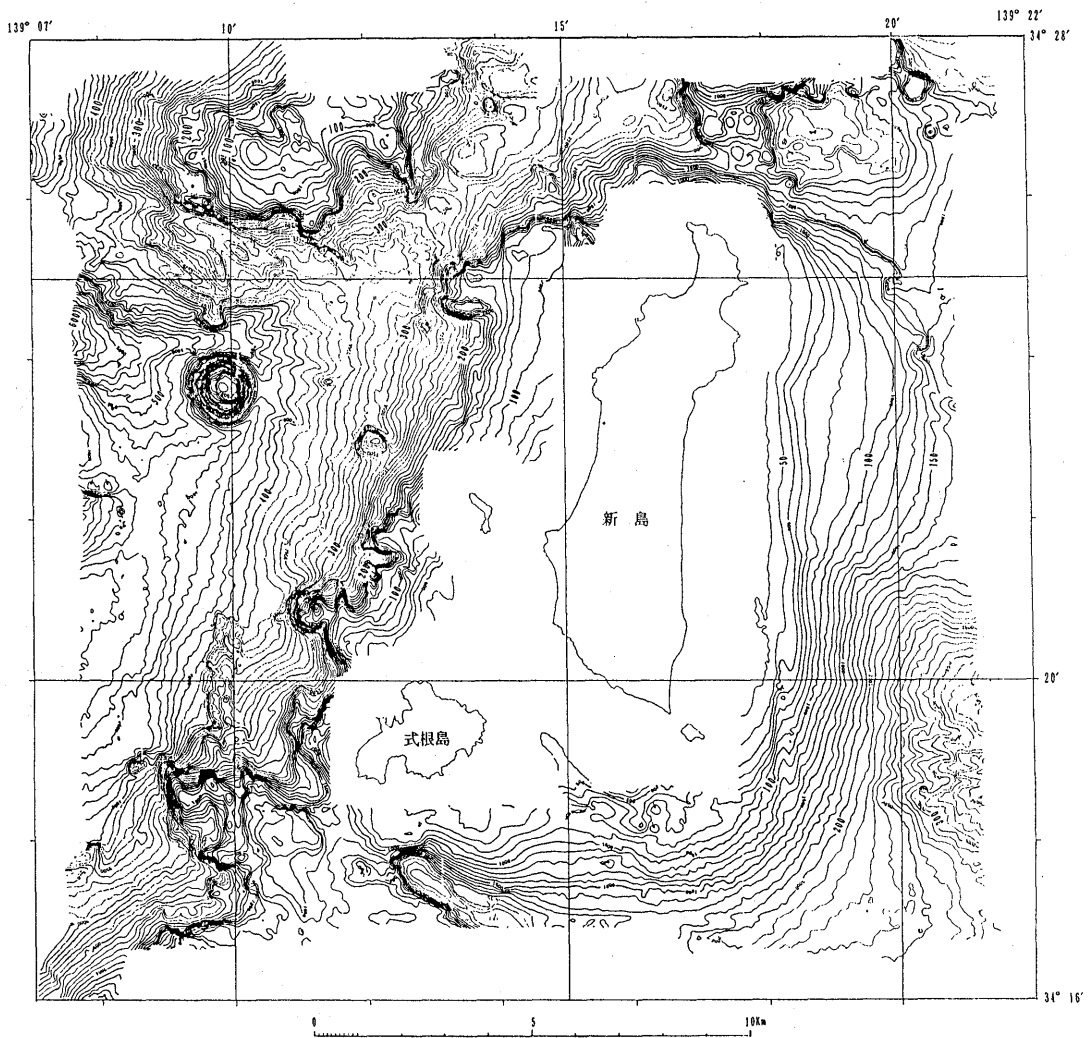
調査期間 1990年4月10日から同年5月1日まで  
船 舶 測量船「天洋」(430総トン、船長：湯山典重)  
調査方法 海底地形調査はナローマルチビーム測深機(ハイドロチャート)を使用し、海底地質構造調査は放電式音波探査機(スパーカー)を使用した。海上位置はGPS測位によった。  
測線間隔 300～600m

新島周辺の海底地形にみられる特徴は次のとおりである。

1. 全体として新島から式根島、さらに銭洲海嶺へ続く尾根状の高まりがみられる。
2. 新島の北西には頂部が平坦な台状の海丘(最浅水深59m)がみられる。海丘の形状から噴火活動後に長期間にわたる侵食を受けていると見られ、比較的古い火山であると考えられる。
3. 新島の西方にはきれいな円錐状の海丘(最浅水深136m、直径1800m)があり、単成火山であると思われる。

---

\* Received 15 Mar., 1991



第 1 図 新島周辺海底地形図

Fig. 1 Bathymetric chart of the sea area around Niijima